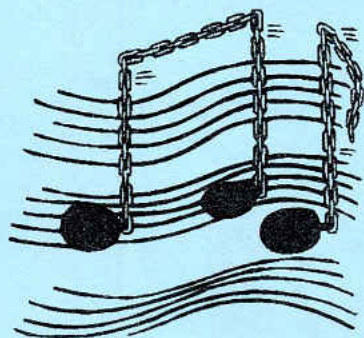


# 上越交響楽団

## 世紀を飾るコンサート

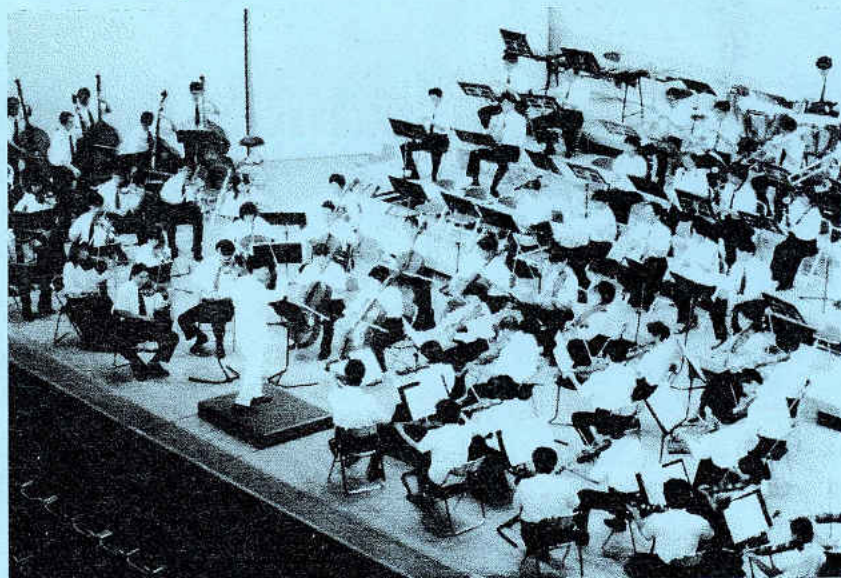
県民文化祭



開 場 13:30

開 演 14:00

終 演 16:00



2000/11/12(sun)

津南町文化センターホール

# PROGRAM

## I 津南小学校音楽サークル&上越交響楽団とのジョイント演奏

指揮：横尾希 津南小教諭

### ▶ 未知という名の船に乗り（作曲：小林亜星）

小学生の頃に一度は歌ったことがあるでしょう！

### ▶ 見上げてごらん夜の星を（作曲：いずみたく）

故 坂本九さんの名曲です！

### ▶ 津南あい唄（作曲：遠藤実）

津南夏祭りの民謡流しでおなじみの曲です！



平成11,12年度の2年連続、県代表として西関東マーチングフェスティバルに参加した音楽サークル

（休憩）

## II 上越交響楽団 世紀を飾るコンサート

指揮：山口哲人

### ▶ F. シューベルト／軍隊行進曲

シューベルトは、「歌曲の王」と呼ばれ、600曲以上の他に、室内楽や交響曲も数多く残しています。軍隊行進曲は、シューベルトの作品の中でも特に親しまれていて、誰もが一度は耳にしたことがあるでしょう。

### ▶ J. ハイドン／交響曲第100番「軍隊」

104曲の交響曲を残したことで有名なハイドンの作品です。明るく快活な交響曲で、第二楽章の「軍隊」のラップが通称の由来です。

（休憩 10分間）

▶ **L. アンダーソン／ワルツ・キャット  
トランペット吹きの子守歌  
クラリネット・キャンティ  
トランペット吹きの休日**

1935年にボストン・ポップス管弦楽団の編曲の仕事についてアンダーソンは、アンコールピースを次々に発表し、すべてが大ヒットしました。そんな楽しい作品の中から、本日は4曲を選んで演奏します。

▶ **J. シュトラウス2世／ワルツ「芸術家の生涯」  
ポルカ「雷鳴と雷光」**

ヨハン・シュトラウス2世は、オーストリアの作曲家です。「ワルツの父」と呼ばれる父ヨハンの長男で、「ワルツ王」と呼ばれています。美しく心地よく流れるワルツや、軽快で楽しいポルカは、聴く人を魅了しやみません。

○ **上越交響楽団**

1972年に発足し、2001年3月で30周年と50回目の定期演奏会を迎えるアマチュアのオーケストラです。クラシックから現代音楽まで幅広く演奏し、今年は韓国の浦項市との合同演奏会を行いました。来年は韓国への演奏旅行が計画されています。今日は、58名のメンバーが来町し演奏します。

○ **指揮者 山口哲人氏**



上越市出身。東京芸術大学作曲科卒業。「箏篋<sup>1)</sup>とオーケストラのための『片葉の葦』(文化庁創作奨励特別賞受賞)や、「やつかはぎ」(上越交響楽団等地元音楽家初演)と地元になんだ曲を作曲しています。また、作曲の傍ら、アマチュア・オーケストラや市民オペラ公演の指導に力を注ぐなど多方面で活躍中です。上越交響楽団には、1988年より常任指揮者として指導にあたり、その実力を発揮しておられます。

<sup>1)</sup> 箏篋(ひちりき): 雅楽用の管楽器の一つ。長さ約20cmで、表に七つ、裏に二つの穴があり、葦を舌とする縦笛。